

中学生海外研修2026

2026.8.12

Vol.4



オーストラリア直送レポート

ドリップストーン校グループ

教育委員会社会教育課 栗栖 / 吉備中学校 平野

ドライバー・ローズベリー校グループ

教育委員会社会教育課 高垣 / 御霊小学校 生駒

オーストラリアの自然と動物を感じた一日！

ドリップストーン校

8月12日（水）は、ドリップストーン校を飛び出して、Territory Wildlife Park（テリトリー・ワイルドライフ・パーク）へ課外学習に出かけました。

朝8時30分までに学校へ集合し、この日はホストファミリーとして生徒たちを受け入れてくれている現地の生徒たちも一緒にバスに乗り込みました。目的地までは約1時間。学校の授業とはまた違った一日が始まるとあって、生徒たちは朝からいつも以上に賑やかな様子でした。

Territory Wildlife Park はとても広大な公園で、園内は専用のバスで移動しながら、オーストラリアに生息するさまざまな動物や自然を見学しました。

まずは水族館を訪れ、魚やワニを見学。その後も園内を進み、バッファローやディンゴなど、日本ではなかなか見ることのできない動物を見ることができました。

続いては、鳥のショーを見学。鳥たちの動きや迫力に、生徒たちも興味津々の様子でした。

昼食にはサンドイッチとジュースをいただき、午後もさまざまな体験が続きます。

中でも印象的だったのが、ヘビとのふれあい体験です。実際にヘビを首に巻いてもらうという、日本ではなかなかできない貴重な体験に挑戦しました。少し緊張しながらも、勇気を出して体験する生徒たちの姿が見られました。

そのほかにも、夜行性の小動物やヘビ、コウモリなどを見学したほか、ワラビーにも出会いました。池ではカメやペリカンなども見ることができ、オーストラリアならではの豊かな自然を存分に感じる一日となりました。

帰りにはお土産を買う時間もあり、ぬいぐるみを選ぶ生徒が多く見られました。「どれにしようかな」と楽しそうにお土産を選ぶ姿からも、今日一日の充実ぶりが伝わってきました。

これまで2日間は学校の授業を通して現地の生徒たちと交流してきましたが、今日は学校の外で一緒に自然や動物を体験しました。バスの中や園内でも会話をしたり、同じものを見て驚いたり、笑ったりすることで、言葉だけではない交流もさらに深まったように感じます。

今回の活動を先導し、一緒に参加してくれたホストファミリーの生徒たち、そして引率してくださったドリップストーン校の先生方にも感謝したいと思います。

学校での学びだけでなく、こうした課外学習を通して、オーストラリアの自然や文化を実際に「見て、触れて、感じる」ことができた一日となりました。

明日はドリップストーン校での最後の一日(金曜日は課外学習のみ)。Cooking や Farewell Presentation など、現地の生徒たちとの交流もいよいよ締めくくりを迎えます。これまでの経験を大切にしながら、最後の一日も思い切り楽しんでほしいと思います。





ドライバー・ローズベリー校

8月12日、本日の登校は、初めてのローズベリーセカンダリースクールです。

朝、校長先生、教頭先生に迎え入れられ、その後、英語の授業を受けに教室へ向かいました。授業は、日本の昔話を題材に自分で物語を作ると言う非常に難しい内容でした。しかし、その難題に副団長の森田がスバッと発表！先生からエクセレントの言葉をいただきました^^

さて、本日も昨日に続いてドライバーとローズベリーの生徒と一緒に課外研修です。ワイルドパークテリトリーという公園に課外活動の研修です。

D・Rの生徒たちと一緒に写真を撮ったり、アドレス交換をしたり、徐々にいつもの自分を取り戻しているように思います。



その中には、やはり有田川町での生活や家族がそばにいて当たり前な生活から、家族と連絡も取れない生活に寂しさを口に出す子もいました。いわゆるホームシックです。

しかし、中には、『ずっとオーストラリアに住みたい！』『帰国すれば逆ホームシックにかかりそうだ』と言う生徒もいて感性はばらばらです。

明日は、ローズベリー校で1日中授業です！

教室の中でも課外研修でも、どちらでも交流活動には違いありません。早いもので学校での交流は残り2日です。到着時の浮き足だった自分から地に足が付いてきた自分に変わりはじめた生徒を見てると少し頼もしくも感じます。

学校生活は、あと2日間、もっともっとアグレッシブに活動してもらいたいです！

